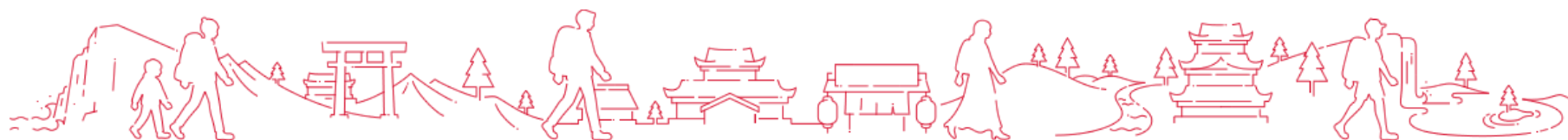




関西観光本部の概要について

一般財団法人関西観光本部

2026年5月改定



1. 組織概要

関西2府8県（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県）を対象エリアとした関西唯一の**広域連携DMO**です。

関西の自治体、経済団体、観光振興団体、観光関連を中心とした民間事業者等が参画し、府県や官民の枠にとられない組織として、その自由度と広域性を発揮しながら、**関西広域でのインバウンドをはじめとする、観光振興**に取り組んでいます。

※ 2017年4月設立、2017年11月に観光庁に「広域連携DMO」として登録

2. 構成団体 (51団体)

[自治体]

関西広域連合（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）
福井県、三重県

[経済団体]

関西経済連合会、関西経済同友会、京都経済同友会、神戸経済同友会、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、堺商工会議所、京都府商工会議所連合会、大阪府商工会議所連合会、兵庫県商工会議所連合会、滋賀県商工会議所連合会、奈良県商工会議所連合会、和歌山県商工会議所連合会、鳥取県商工会議所連合会、徳島県商工会議所連合会、福井県商工会議所連合会、三重県商工会議所連合会

[業界団体・事業者]

日本旅行業協会関西支部、日本観光振興協会関西支部、関西エアポート株式会社

[観光推進団体]

びわこビジュアルズビューロー、京都府観光連盟、大阪観光局、ひょうご観光本部、奈良県ビジュアルズビューロー、和歌山県観光連盟、鳥取県観光連盟、徳島県観光協会、福井県観光連盟、三重県観光連盟、京都市観光協会、京都文化交流コンベンションビューロー、堺観光コンベンション協会、神戸観光局

[その他の官民連携団体]

歴史街道推進協議会、関西・大阪21世紀協会

3. オブザーバー (11団体)

近畿総合通信局、外務省大阪分室、近畿財務局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿地方環境事務所、日本貿易振興機構大阪本部、中小企業基盤整備機構近畿本部、文化庁

4. 会員 (2026年5月1日現在 270社)

1	(公社) 福井県観光連盟	23	(一社) 近江ツーリズムボード	45	(一財) 奈良県ビジターズビューロー
2	三方五湖DMO (株)	24	(公社) 長浜観光協会	46	斑鳩産業 (株)
3	(株) まちづくり小浜	25	(一社) 近江八幡観光物産協会	47	(一社) 吉野ビジターズビューロー
4	勝山市観光まちづくり (株)	26	(一社) びわ湖の素DMO	48	(公社) 和歌山県観光連盟
5	(一社) DMOさかい観光局	27	(公社) 京都府観光連盟	49	(一社) 高野山麓ツーリズムビューロー
6	(一社) 越前町観光連盟	28	(一社) 京都山城地域振興社	50	(株) 南紀白浜エアポート
7	(公社) 三重県観光連盟	29	(一社) 森の京都地域振興社	51	(一社) 和歌山市観光協会
8	(公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構	30	(一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社	52	(一社) 田辺市熊野ツーリズムビューロー
9	(一社) 東紀州地域振興公社	31	(一社) 豊岡観光イノベーション	53	(一社) 紀の川フルーツ観光局
10	(公社) 伊勢市観光協会	32	(公社) 京都市観光協会	54	(一社) 高野町観光協会
11	(一社) 相差海女文化運営協議会	33	(一社) 南丹市美山観光まちづくり協会	55	(一社) 紀州の環
12	(一社) 鳥羽市観光協会	34	(公財) 大阪観光局	56	(一社) 南紀白浜観光協会
13	(一社) 志摩市観光協会	35	(一社) K I X 泉州ツーリズムビューロー	57	(一社) 那智勝浦観光機構
14	(一社) 伊賀上野観光協会	36	(一社) 泉佐野シティプロモーション推進協議会	58	(一社) 中海・宍道湖・大山圏域観光局
15	(一社) 菰野町観光協会	37	(一社) 東大阪ツーリズム振興機構	59	(一社) 鳥取中部観光推進機構
16	(一社) 明和観光商社	38	(一社) くらわんか観光マネジメント	60	(一社) 大山観光局
17	大台町商工会	39	(公社) ひょうご観光本部	61	(一社) イーストとくしま観光推進機構
18	(一社) 津市観光協会	40	(一社) 淡路島観光協会	62	(一社) そらの郷
19	多気町商工会	41	(一社) 麒麟のまち観光局	63	(一社) みなみ阿波観光局
20	(一社) 大紀町観光協会	42	(一財) 神戸観光局	64	(一社) ツーリズム徳島
21	(公社) びわこビジターズビューロー	43	(公社) 姫路観光コンベンションビューロー	65	(一社) 美馬観光ビューロー
22	(一社) 比叡山・びわ湖DMO	44	(一社) あこう魅力発信基地		

1. 評議員 (5名)

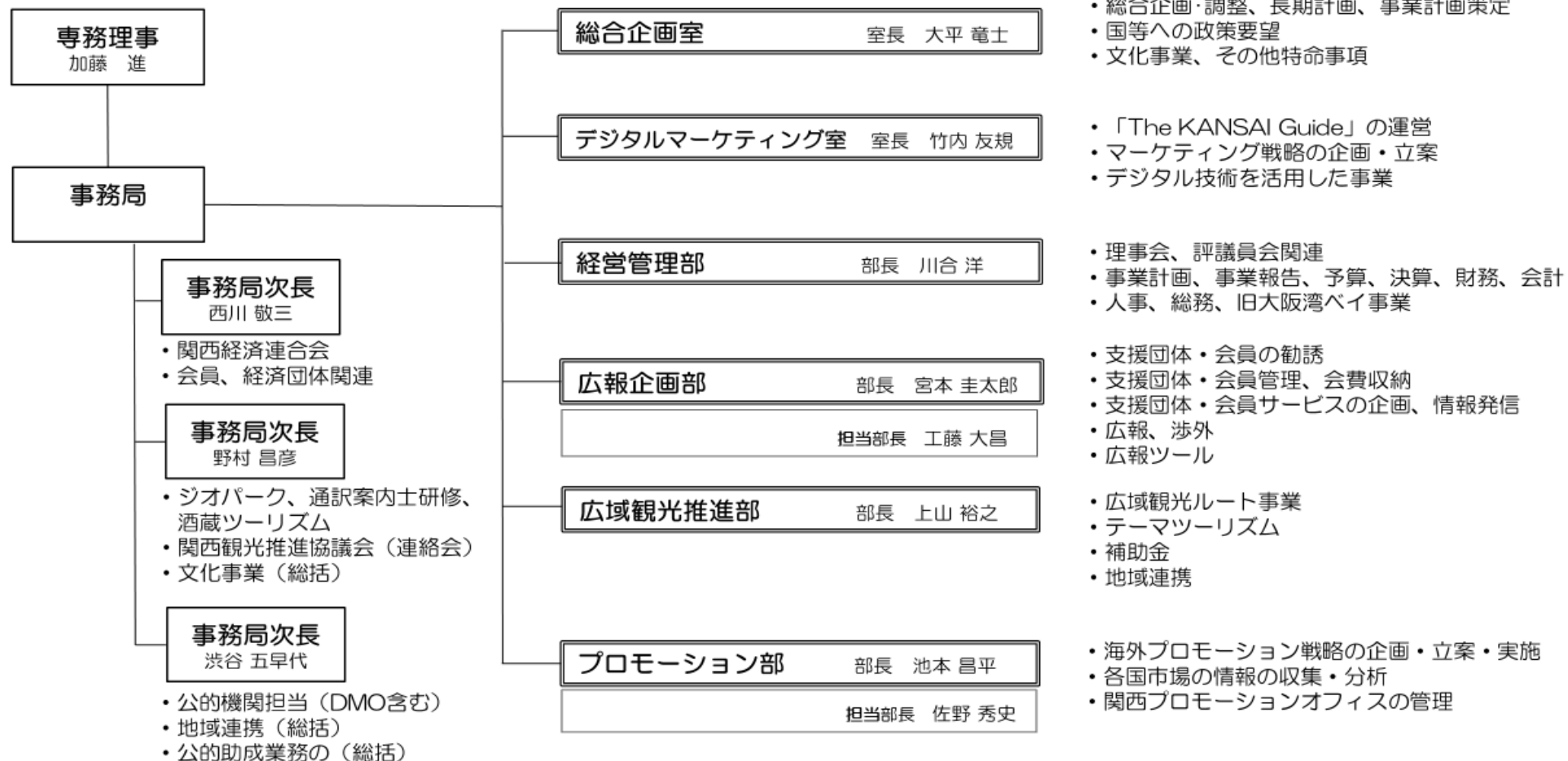
議長	秋山 喜久	関西広域連合協議会 会長
	富森 浩治	一般社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長
	近藤 博宣	大阪商工会議所 専務理事
	今西 正男	神戸市 副市長
	本屋 和宏	堺市 副市長

2. 理事 (13名)

理事長 (代表理事)	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会 会長 (住友電気工業株式会社 代表取締役会長)
副理事長	三日月 大造	関西広域連合 広域連合長 (滋賀県知事)
副理事長	西脇 隆俊	関西広域連合 副広域連合長(広域観光・文化・スポーツ振興担当) (京都府知事)
副理事長	蔭山 秀一	関西経済連合会 理事 (都市・観光・文化委員会 委員長) (ロイヤルホテル取締役会長)
理事	福島 伸一	公立大学法人大阪(大阪公立大学) 理事長
	栗田 晃治	奈良県 観光局長
	田口 邦彦	鳥取県 輝く鳥取創造本部観光交流局 局長
	細川 万理子	京都商工会議所 産業振興部 部長
	大塚 隆生	神戸商工会議所 地域政策部長
	北村 慎	株式会社三菱UFJ銀行 専務執行役員
	米山 由紀	株式会社大丸松坂屋百貨店 執行役員 大丸大阪・心斎橋店長
	野口 礼子	関西広域連合 広域観光・文化・スポーツ振興局長 (京都府商工労働観光部 観光政策監)
専務理事 (代表理事)	加藤 進	一般財団法人関西観光本部 (西日本旅客鉄道株式会社)

3. 監事 (3名)

	岸田 英嗣	関西広域連合 本部事務局長
	保田 亨	新関西国際空港株式会社 代表取締役社長
	西野 裕久	有限責任あずさ監査法人 パートナー



関西ツーリズムグランドデザイン2030

- 本グランドデザインは、関西唯一の広域連携DMOである関西観光本部が目指す関西の将来の姿とその実現に向けて、行政機関やDMO、民間企業等が連携して取り組むべき事業の柱を示した。
- 大阪・関西万博のレガシーを最大限活用し、今後5年間の取り組みを通じて、2030年度において「関西がインバウンドで我が国トップ（シェア40%）となる」ことを目指す。

<今後5年間の基本戦略>

- 戦略1：世界における「KANSAI」のさらなる認知度向上・ブランド化
- 戦略2：高い消費が期待できる旅行者へのプロモーション強化
- 戦略3：関西広域でのツーリズム開発による滞在日数・消費額の増加
- 戦略4：国際交流基盤の整備・拡充を活用し、「より広域」での取り組み

<今後5年間の目標>

- KGI①：関西2府8県の訪日客（観光）消費額を我が国トップに（シェア4割、4.6兆円）
- KGI②：経済波及効果 8.3兆円

アクション01： 広域観光圏KANSAIのブランド力向上

① BtoB

<海外における取り組み>

- 海外の主要な旅行博にONE関西で大規模出展するとともに、関西への送客に意欲ある旅行会社に対して個別セールスを展開する。特に重要な海外拠点では、関西観光本部が「ONE関西商談会」を主催し、海外の旅行会社と関西の観光事業者が一堂に会する場を設定する。
- 海外展開の実施にあたっては、ターゲット国・地域とプロモーション内容の組み合わせを最適化し、協力をいただく民間企業や事業者、行政等とも十分連携したうえで、効果の最大化とスケールメリットの発揮を目指す。
- 関西の行政・企業のトップリーダー層等が参加する「KANSAI観光ミッション」（仮称）を海外の主要市場に派遣して、関西全体でのトップセールスを実施する。派遣と併せて、関西の魅力を発信し具体的な誘客に繋がる取り組み（セミナー、商談会等）を実施する。
- 関西の観光関係者、さらには行政や経済界に対し、プロモーションはじめ各種の活動やイベント等において「KANSAI」の表示や情報発信を行うよう働きかける。

<国内における取り組み>

- 海外の大手旅行会社、OTA、航空会社、マスコミ、インフルエンサー、海外の要人等を関西に招集し、観光セミナーやファムツアーを実施する。またこれと併せて「KANSAIインバウンドフォーラム」（仮称）を開催し、関西の観光関係者（旅行会社、宿泊事業者、観光施設、DMO・観光協会等）との大規模商談会、関西の観光業界の幹部と海外要人（観光当局、航空会社、旅行会社等）の交流会を実施する。

② BtoC

- 万博プラス関西観光推進事業で制作した動画を充実させ、関西が魅力的な観光コンテンツの集積した一大観光圏であることのイメージ向上を図る。
- 観光情報サイト『The Gate to KANSAI』を刷新し、個々の観光コンテンツの発信に向けてAIオリエンテッドなプラットフォームを構築する。また、SNSをフル活用し個客に応じたターゲティングプロモーションを展開する

アクション02： KANSAIに誘客するツーリズム開発

① 「ルート化」によるテーマツーリズム充実

- **関西ならではの「歴史・文化・自然」、各地域ならではの「唯一」「本物」の観光資源のツーリズム化を進める。**
また、アニメ等特定のカルチャーに関心を持つ層をターゲットとした**スモールマスツーリズム**や、世界のツーリズムのトレンド（サステナブル、アドベンチャー、ウェルネス、エコ、グリーン、イマーシブ等）に応じたツーリズム開発を進める。
- コアエリア内及びコアエリアから東西南北に延びる広域観光ルートについて、関係事業者等との連携の下、さらに進化させる。
- **大関西観光圏の創出**を念頭に、**瀬戸内**や**山陰・四国**の豊かな自然、歴史、文化等を活用した西日本広域のツーリズム開発を進める（西日本の4つの広域連携DMOとの連携）。またインバウンド誘客力のある**関西の隣接地域（北陸、岐阜等）**と連携したツーリズム開発を進める。
- **首都圏空港等を活用**し、地方空港に直接誘客するツーリズムを開発する。

② 関西全体で「面」での観光コンテンツ提案

- 万博プラス関西観光推進事業で整備した**「関西観光コンテンツ集」を基盤**に、観光に関わる企業や行政、DMO等から多様な観光コンテンツを収集して更に充実させ、関西を「面」で提案し、海外市場での流通環境整備を進める。
- 付加価値の高い観光コンテンツの**流通環境整備**に向け、旅行会社・OTA等への**商品造成支援**を進める。

アクション03： データに基づく観光戦略策定機能の整備

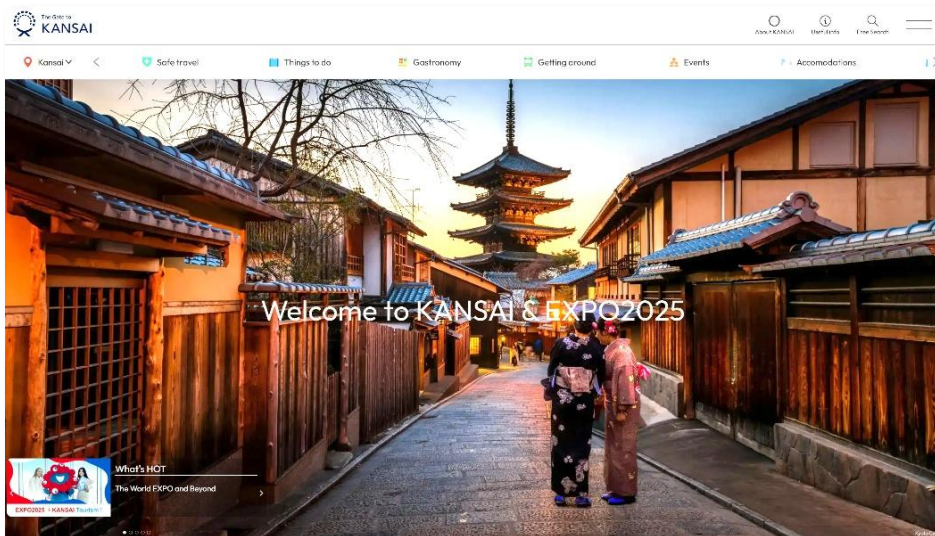
- 複数年度にわたる事業を通じて成果を積み上げるために、実施した施策ごとに効果の分析と課題の顕在化が必要であり、そのためのデータ収集・分析の仕組みを整備する。
- 旅行者の移動データや消費データを把握・分析し、課題の顕在化と施策の立案につなげるとともに、企業や地域の観光関係者と共有し、ONE関西での施策推進力の強化につなげる。
- 広域連携DMOとして整備すべきデータ分析の対象や手法等については、関西の観光関係者における現状把握を行いながら検討を進める。

アクション04： 事業を推進する組織体制の整備

- 大阪IRが開業する2030年度を最終年度として、広域観光事業をともに進める企業の拠出、事業に参画する地域の負担、広域観光や万博レガシーの展開のための政府の補助を財源の基盤とした事業を展開する。
- 各事業の推進には既存の関西観光本部の人材に加えて、①中長期的な戦略策定や資金投入計画を策定する人材、②データに基づくデジタル戦略を策定・実行する人材、③海外の観光関係者と日常的な意思疎通を行い戦略策定に活かし実行する人材を登用し、組織体制の強化を行う。

関西の観光情報サイトから関西広域観光情報ゲートウェイへ。発信力に加えてお役立ちコンテンツ強化。

訪日旅行者に対し、関西の魅力を伝える観光ポータルサイトとして2019年に開設したThe KANSAI Guide。関西の特徴、魅力をわかりやすく発信することにより、広域観光圏“KANSAI”の認知度を高め、訪関西及び関西各地域周遊の機運醸成につなげてきた。2024年以降は、万博による旅行市場の拡大を踏まえ、関西各地域を旅程に入れてもらえるよう各地域体験コンテンツや関西旅行のお役立ち情報等を拡充。旅マエだけでなく旅ナカでも役に立つサイトへの成長を目指して、2025年にはThe KANSAI Guideを「The Gate to KANSAI」（関西広域観光情報ゲートウェイ）として情報と機能を大幅にアップデート。



<https://www.the-kansai-guide.com/>

<2025年度上半期 アクセス実績>

サイト訪問者数（UU数） 740,575（前年同期比149.3%）
内オーガニック検索流入数 258,831（前年同期比62.5%）
ページ閲覧数（PV数） 935,939（前年同期比97.3%）

- 約700件の各地域SPOT情報追加掲載
- 万博＋関西各地域体験 周遊アイテナリー（紀行文）展開
- 文化/サステナブル/ガストロノミー/キャスル等テーマ特集記事
- サイト流入促進広告等デジタル・マーケティング
- 美食体験情報 ●宿泊施設情報 ●旅のお役立ち情報
- 旅の安心・安全情報（天気、災害時、医療が必要な時、など）

- SNSでは、アカウント運用を強化。地域の商品化されたコンテンツを題材にした投稿数を増やし、エンゲージメントの獲得も促進するなど、関西の魅力に対する共感獲得に努めた結果、フォロワー数が増加。（Facebook 2024年23,901人⇒2025年26,215人、Instagram 2024年3,625人⇒2025年6532人）

- 2018年度から実施している「訪関西意向率調査」の2024年度版データによると、戦略ターゲットである欧米豪訪日検討層の「関西」認知率は2023年度の62.9%から2024年度は70.8%に上昇、来訪意向率は同様に51.7%から56.3%へと上昇。

重点市場における海外プロモーション

台湾大商談会を実施 (2025年2月実施)

- 2025年2月12・13日、第11回となる台湾大商談会を台中市と台北市の2都市で開催。今回は、セラーとして、関西10府県4政令市等の自治体やDMO、また域内の観光・宿泊事業者等72団体132名が参加し、バイヤーである台湾からは、現地の旅行会社等、台中では91社（147名）、台北では95社（148名）、2都市合計で186社（295名）の参加を得た
- 大阪・関西万博の開幕がせまる中、両日とも熱心な商談が行われ、台湾からの関西への旅行機運のますますの高まりを感じた



台中市での商談会の様子



台北市での商談会の様子

タイ商談会を実施 (2025年7月実施)

- 2025年7月9日、タイでは2回目となるタイ商談会をバンコクで開催。今回はセラーとして、当本部の会員（宿泊・観光事業者）や関西10府県4政令市等のDMOを中心に33団体が参加し、バイヤーであるタイからは、現地の旅行会社37社の参加を得た
- 終日にわたり熱心な商談が行われ、関西観光についての高い関心をうかがわれた



オーストラリア・シンガポールで関西観光をPR (2025年8月・12月実施)

- 2025年8月25日にオーストラリア・シドニーにて、12月2日にシンガポールにて関西観光をPRするセミナーを開催
- 参加者に関西の文化を体験していただき、関西観光の関心を高めることができ好評だった



重点市場における海外プロモーション

訪日旅行会社に訴求するファミトリップ実施

地域や会員企業等協力のもと、各国の有力訪日旅行会社を招いたファミトリップを積極的に受け入れ

イギリス・スペインの有力訪日旅行会社を招聘（2025年2月実施）

- ターキッシュエアラインズからの依頼
- 大阪府、大阪市、兵庫県、三重県、京都府、京都市、奈良県
関西空港利用促進協議会連携
- 招聘旅行会社8社：
（英）TOPTOUR EUROPE LTD、HIS-MIKI TRAVEL UK LIMITED、
SAGA TRAVEL (ST&H LIMITED)、
SECRET ESCAPES TRANSPORT LIMITED
（西）TUI AMBASSADOR、DESTINOS DEL MUNDO、CATAI、
ICARION
- ファミトリップに合わせてミニ商談会を開催し、観光コンテンツの
販売促進を図った



中国の有力訪日旅行会社を招聘（2025年4月実施）

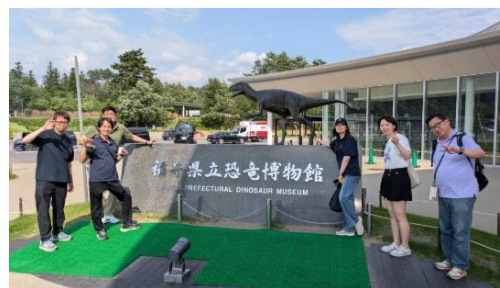
- 中国国際航空からの依頼
- 大阪府、大阪市、滋賀県、三重県、和歌山県
関西空港利用促進協議会連携
- 招聘旅行会社6社：中青旅控股股份、中商視野国際旅行社、
北京颯远国際旅行社、中国国际旅行社总社、
北京携程国際旅行社、河南运通旅游
- 行程に万博会場を視察を盛り込み、万博プラス関西観光の
旅行商品造成を促進した



重点市場における海外プロモーション

各国の有力訪日旅行会社を招聘し、商談会とファムトリップを実施（2025年6月実施）

- アメリカ・台湾・香港・韓国・フィリピン・タイの訪日旅行会社18社を招請し、大阪梅田で商談会を開催
- 大阪・関西万博会場の視察を含めたファムトリップを実施し、各府県市の観光コンテンツを視察、体験
- 関西の魅力を発信し、新商品造成の促進に結び付けた



商談会・交流会の様子

ファムトリップの様子

重点市場における海外プロモーション

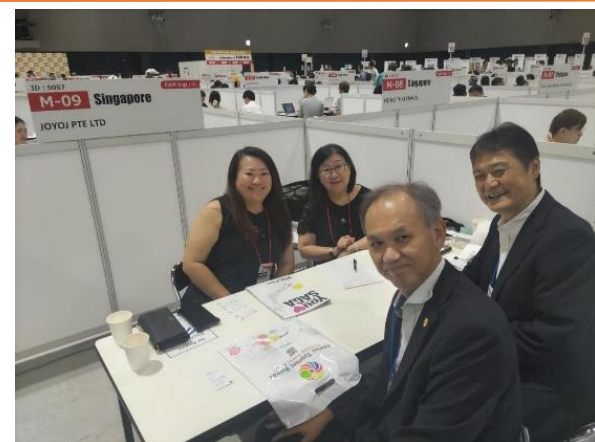
オーストラリアで開催された「Japan Roadshow 2025」に出展（2025年8月）

- 2025年8月 オーストラリア・シドニーで開催された旅行博「Japan Roadshow 2025」に出展し、訪日旅行会社約20社と面談して関西観光をPRした。



愛知県で開催された「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」に参加（2025年9月）

- 2025年9月 愛知県で開催されたJNTO主催「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」に参加し、世界各地の訪日旅行会社約40社と面談して関西観光をPR。関西各地の観光コンテンツ、関空・大阪・京都を起点としたアクセス等を紹介した。



地域と連携した「ルート」づくり“THE EXCITING KANSAI”の推進

関西のコアエリア（京都、大阪、神戸、奈良）を起点に8つの広域観光ルートの形成を図る“THE EXCITING KANSAI”の取り組みを進めている。具体的には、自治体、地域・地域連携DMOや企業などと連携して地域の価値やコンテンツを洗い出し、広域観光ルートを通る旅行商品の造成、および、旅行者の興味や関心を惹きつける動画等を制作し、Webサイト等を通じて情報発信を行っている

- 2024年度は、コアエリア(大阪)を起点に兵庫・徳島エリアを対象とした広域観光ルートを造成する(3コース)とともに、概成している関西広域観光8ルート全エリアと関連するコンテンツを拡充

- ①大阪-兵庫-徳島ルート： 食と自然豊かなリトリート体験で心と体をリフレッシュ
- ②大阪-兵庫ルート： 歴史を紡ぐ伝統的産業や文化を体験 ～天下の台所から歴史街道をたどる～
- ③大阪-徳島ルート： アグレッシブな2大祭りと共に歩む地域で 伝統と文化を学ぶ旅

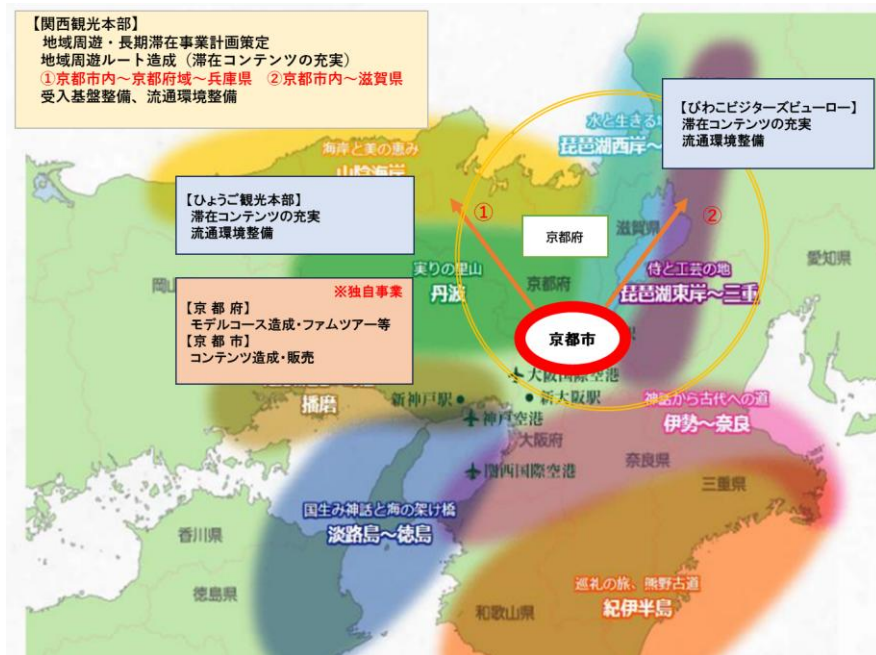
- 2025年度は、京都を起点として『水』を共通テーマに兵庫・滋賀エリアを対象とした広域観光ルートを造成する（2コース）とともに、各エリアの着地型コンテンツを販売

【2024年度 大阪コアエリアルートの概要】

▼大阪コアエリアルート <https://www.the-kansai-guide.com/en/exciting/core-area/>



【2025年度 京都コアエリアルートの概要】

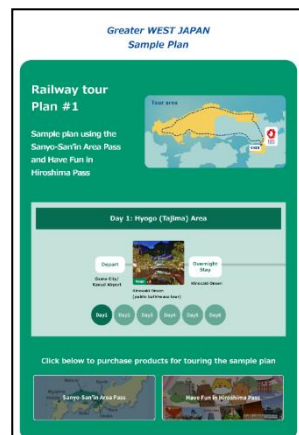


西日本の広域連携DMO間のマルチの連携協力の枠組み作りに着手

- 2023年5月に、一般財団法人関西観光本部、一般社団法人山陰インバウンド機構、一般社団法人四国ツーリズム創造機構及び一般社団法人せとうち観光推進機構の4つの広域連携DMOは、日本で初めてマルチの連携協定を締結
- 西日本の魅力ある豊富な観光資源を活用して、これまで以上に魅力ある観光ルートの形成、テーマツーリズムの創出を促進
(関西、中国及び四国を結ぶ広域観光を推進し、訪日外国人旅行者の流動増に貢献、海外に向けた観光情報の発信)
- 2024年3月には、4広域連携DMO共通のウェブサイト（英語版）をオープン。これにより、海外に向けて、各エリアの魅力ある観光資源や観光情報、エリアを巡るモデルルートの発信を始めた。
- 2025年度は4DMOが一体となって豪旅行博(JAPAN Roadshow)に参加する(2026年2月)



▼The Kansai Guide 「Greater WEST JAPAN」 <https://www.the-kansai-guide.com/en/gwj/>



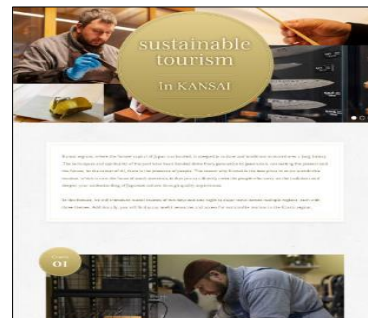
- 西日本広域モデルルートの紹介
関西国際空港や「大阪・関西万博」会場を起点に、鉄道やレンタカーの利用を想定した各エリアを跨がる広域モデルルートの紹介
- 西日本広域商品の紹介
上記モデルルートの周遊に便利な商品の紹介（JRの広域周遊パス、高速道路の広域周遊パスなど）
- せとうち航路情報
本州と四国を周遊するのに便利なせとうちの航路のマップと時刻表情報へのリンク
- 万博プラス西日本観光情報
「大阪・関西万博」と併せて周遊する西日本のおすすめ観光情報へのリンク

テーマツーリズム：ストーリーマーケティングの具現化⇒「テーマ」で地域を広域に繋ぐ

関西が世界から選ばれる観光地であり続けるためにも、2025年大阪・関西万博を契機とした広域周遊観光促進が重要。関西広域で造成した「サステナブル・ツーリズム」「産業ツーリズム」に加え、2025年度は新たなテーマツーリズムに着手

【サステナブル、産業ツーリズム事業】

- 2024年度までに、関西2府8県を網羅するモデルコース造成（各4コース）
- 関西観光情報発信サイト「The Gate to KANSAI」にWEBページ構築
- 一部コンテンツはインバウンドOTA（Viator等）で販売・各施設への紹介リンクを設置



2025年【「関西の城たび」事業】

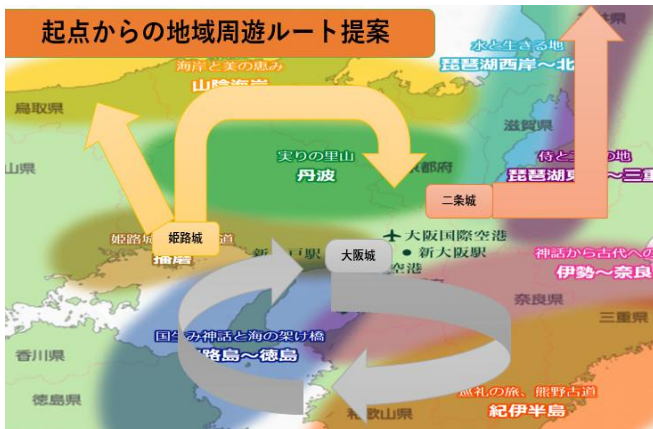
■ 「関西の城たび」をテーマに広域周遊観光ルート造成（コアエリアからの広域分散化）

「有名武将ゆかりの城と周辺文化・歴史で地域を繋ぐ」をテーマに、関連する本物素材（城下町、武家文化等）の体験を盛り込みコース造成（4ルート）※関西広域連合や2府8県4政令市との連携事業（20市区町村から同意書）


- ① 二条城起点～京都・奈良・三重・滋賀・福井（2泊3日）
- ② 大阪城起点～大阪・兵庫・徳島・和歌山（2泊3日）
- ③ 姫路城起点～兵庫・京都（1泊2日）
- ④ 姫路城起点（列車利用）～兵庫・鳥取（1泊2日）

■ 販路開拓（BtoBによるメインターゲット国への営業活動：米国、中国、台湾、タイ、シンガポール、インドネシア）

■ 「The Gate to KANSAI」でのWEBページ構築とインフルエンサーによる情報拡散（SNS活用）



Travel Story of Castle in Kansai
Now, join us as the protagonist of this story on a castle tour through Kansai, a region brimming with historical romance.
This feature is not a mere list of information. Instead, a single traveler will journey through Kansai and its wider surrounding area, weaving a heartfelt travel story filled with captivating scenes, personal experiences, and encounters with local people.




3-Day Central Japan Itinerary
From Kyoto to Fuku's Castle Towns and Temples

Highlight of Travel Story

- Osaka Castle
- Iga-Ueno Castle
- Nagahama Castle
- Ono Castle

[SEE MORE](#)

Discover Kansai & Shikoku
From Osaka Castle to Tokushima's Awa Odori Dance




Highlight of Travel Story

- Osaka Castle
- Wakayama Castle
- Arima Onsen
- Zenbo Seinei

[SEE MORE](#)

Himeji to the Castle in the Sky
Exploring Kansai's Hidden Castle Towns




Highlight of Travel Story

- Himeji Castle
- Shoshazan Engyo-ji
- Takeda Castle
- Fukuchiyama Castle

[SEE MORE](#)

Himeji to Tottori Itinerary
Hidden Castle Towns, Hot Springs & Yokai Street



Highlight of Travel Story

- Himeji Castle
- Kurayoshi
- Wakae Onsen
- Yonago Castle

[SEE MORE](#)

御食国（みけつくに）事業

御食国（みけつくに）の歴史を持つ京都府・兵庫県・福井県・三重県が協議会を設け、ブランドとして観光振興を行ってきた。2022年度から当本部が事務局として参画、大阪関西万博開催も踏まえ、御食国の歴史的背景のストーリー化や共通ブランドの強化等により、ツーリズム化等を推進している。

- 旅行者等へ向けて、「Royal Food of MIKETSUKUNI」の世界観を表現し、京都と御食国地域をつなぐストーリーや御食国の魅力を視覚的に伝える動画の制作・発信や「The Gate to KANSAI」でのPRを実施。
- 宿泊施設等を対象にオンライン勉強会や専門家による宿泊施設への個別フォローの実施や国内OTAでの宿泊プラン販売(2024年度)。
- 2025年度は、インバウンド誘客に向け磨き上げたコンテンツや2024年度に作成した御食国動画を活用した在外旅行会社へのプロモーション等に取り組む。



御食国動画



The Gate to KANSAI



旅行博（ILTM）出展

酒蔵ツーリズムの推進

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録をも念頭に、国税庁との連携事業として、関西の酒蔵を体験型コンテンツとして磨き上げ、体験と販売を一体的に提供する「酒蔵ツーリズム」を推進している。大阪・関西万博を開催した2025年度は、これまでの酒蔵ツアー造成ではなく、万博会場内での関西観光PRブース「KANSAI Tourist Information」において、万博プラス関西(酒蔵)観光を推進するスタンプラリーを実施した。

■ 酒蔵スタンプラリーの実施

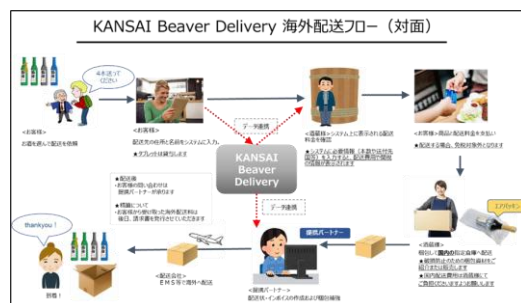
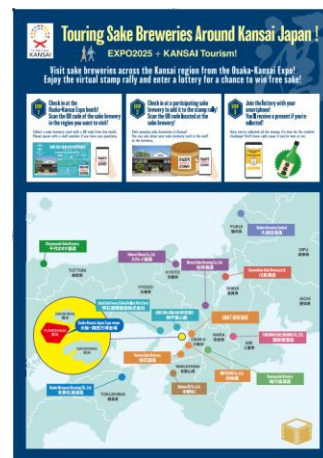
「KANSAI Tourist Information」ご来訪のお客様を対象に、期間中に関西各地域の酒蔵(各地域1×14蔵)をチェックポイントとしたスタンプラリーキャンペーンを実施。キャンペーンは万博来訪時に酒蔵別カード手交によるスタンプ獲得と酒蔵訪問時のスタンプ獲得で抽選で景品のお酒を現地でもらえる内容で、専用のデジタルシステムで全体をコントロール。

実施期間67日間で6,847名に15,636枚の応募カードを配布し、万博で2751スタンプ、酒蔵で758スタンプを獲得。

- ・会場スタンプ取得率17.6%、現地酒蔵スタンプ取得率4.8%
- ・万博スタンプ→酒蔵訪問率27.6%

■ 海外別送システム「Kansai Beaver Delivery」の導入・普及を目的に、海外別送システムを使った事例を紹介するなどの情報発信を継続的に実施

■ 関西エリアの酒蔵等の魅力を幅広く発信するため、訪日外国人旅行者向けの情報コンテンツをファムトリップで訪問した酒蔵を中心に26コンテンツ制作(日本語・英語)



Ueda Sake Brewery was founded in 1558 in Ikoma City, Nara Prefecture. This traditional sake brewery, with a history spanning over 400 years, uses soft underground water of Ikoma and high-quality domestic rice to craft premium sake in a region of Japan known as the birthplace of sake. Ueda Brewery is also participating in the Bodai Moto Revival Project, a moto, or yeast starter, that's been in use since the Muromachi Period (1336-1573). Drawing on the wisdom of our ancestors, we blend tradition with innovation to create a diverse range of sake. We are committed to preserving this heritage for future generations.

「マーケティングダッシュボード（MD）」と「訪関西意向率調査結果」の活用

“The KANSAI Guide”の訪問者数増に比例して拡大するオウンデータを分析し、関西観光のマクロ・ミクロの戦略策案に活用するためのツール「マーケティングダッシュボード」を2022年度に開発・運用を開始。現在は日々のサイト運用（PDCA）において活用。

- “The KANSAI Guide”の閲覧者がアクセスする際に検索した「キーワード」や閲覧者のサイト内コンテンツへの閲覧状況等を分析すると同時に別途実施している「訪関西意向率調査」の結果を合わせて、市場ごとのニーズやトレンド傾向などを把握

訪関西
意向率
調査より

「KANSAI」の認知度

<2024：欧米豪全体>

70.8 %

認知者の約80%が
来訪意向



<2019：欧米豪全体>

49.5 %

認知者の約65%が
来訪意向

「KANSAI」の訪問意向率

<2024：欧米豪全体>

56.3 %



<2019：欧米豪全体>

32.3 %

「各地域」の訪問意向率

<2024：京都・大阪平均>

約 67 %

VS

<2024：他地域平均>

約 25.4 %

訪日ニーズ

<2024：訪日ニーズ>

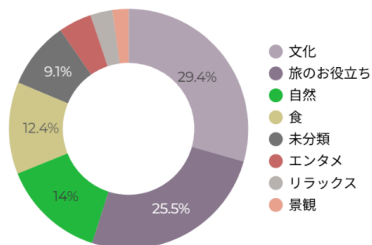
- ローカルフード
- カルチャー・サステナブル
- ワイルドライフ（ネイチャー）

VS

<2024：関西イメージ>

- 食事が楽しめる
- 街並み・有名建築
- 歴史探求・史跡名所訪問

2025年度上半期サイトコンテンツの人気テーマ



1:文化体験

（文化施設、歴史名所、伝統など）

2:旅のお役立ち情報

（旅の準備情報、周遊ルートなど）

3:自然体験

（自然景観、アクティビティなど）

2025年度上半期 検索表示数の多いキーワード（日本以外）

検索キーワード	表示回数
1. kansai	826,007
2. kix airport	81,501
3. kansai airport	70,062
4. kansai japan	58,341
5. osaka expo 2025	52,406
6. osaka airport	51,520
7. kansai international airport	42,328
8. wabi sabi	42,236
9. kansai region	41,573
10. sado	33,859

訪日旅行の
ための検索行動、
情報収集行動が
さらに顕在化

MD
分析より

通訳案内士のスキルアップ事業の実施

通訳案内士は、観光の重要な人的インフラであり、富裕者層とのアクセスチャンネルとしても期待できるため、当本部では通訳案内士のスキルアップ研修等の支援を関係団体と連携しながら継続的に行っている

- 2025年度は、「文化資源」をテーマとするオンラインセミナー動画配信、未活動の通訳案内士の活動再開を目的としたオンラインセミナー、実地研修、歴史街道推進協議会と共同開催のセミナー等を実施中。
- 通訳案内士向けのオンラインセミナー動画は、過去分も含めて計60動画を提供中。
- 通訳案内士自らが企画するガイドツアーの造成・販売を支援。2021年度に構築したツアー検索サイト「Kansai Recommended Guide」に掲載し、現在56のツアーが登録。



NEW 弓浜線



NEW 阿波藍



NEW 京竹

- 通訳案内士向けにこれまで制作してきたスキルアップのためのオンラインセミナー動画は事業ごとに視聴できるID/PWが異なっていたが、2024年度より一つのサイトに統合。

[全60動画] 文化資源 (10)、お祭り (26)、お酒 (3)、感染防止 (1)、地域 (4)、多様なコンテンツ (8)
文化観光 (3)、高額消費者向け (4)、ガイドツアー制作手法 (1)

<https://beautiful-kansai.com/movie/skillup/culture/>

ID : skillupmovie

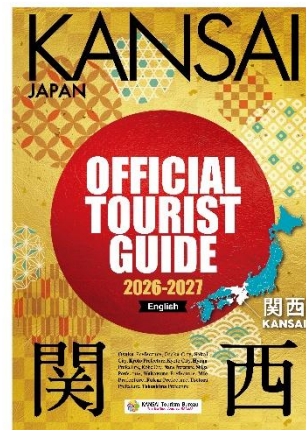
PW : Xk9EpeVL

インバウンド情報誌「KANSAI OFFICIAL TOURIST GUIDE」の発行

「KANSAI OFFICIAL TOURIST GUIDE」は、インバウンド向けに制作している情報誌であり、「THE EXCITING KANSAI」の8つのルートの魅力や関西各エリアへのアクセス等の旅ナカ情報など、訪日外国人旅行者にとって役立つ情報を掲載している

- 関西国際空港をはじめ、関西の主要観光案内所約60か所に配架し、JNTO海外事務所や海外での旅行博等でも活用している
また、デジタル版については、当本部のWebサイト「The Gate to KANSAI」に掲載している

※ 年間発行部数：約30,000部



国・自治体・事業者との連携

関西観光アクションプラン

近畿地方整備局・近畿運輸局・当本部による「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」の改訂版を発表
「4つの視点」で地域をつなげることで「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指している



Airbnb Japanとの包括連携協定締結

Airbnb Japan 株式会社との間で、2023年4月13日、包括連携協定を締結
インバウンド旅行客をターゲットに、ホームシェアリングを活用した交流型観光と広域観光を推進していく



関西文化の日

- 関西文化の日は、毎年11月中旬の土日を中心日として、関西2府8県4政令市の域内にある美術館・博物館などの文化施設の入館料（原則として常設展）を無料とする取組みである
- 2025年度は、11月15・16日を中心日として開催し、参加施設数は468施設となった。総入場者数は約27万人、累計入場者数は約747万人
- 「関西文化の日」に参加の文化施設情報は、「The Gate To KANSAI」の関西文化の日に関するページにて公開している

▼The Gate To KANSAI 関西文化の日 <https://www.the-kansai-guide.com/ja/kansaibunkanohi/>



関西元気文化圏賞

- 関西元気文化圏賞は、その年に文化・芸術活動やスポーツ等を通じて「関西から日本を明るく元気にすること」に貢献した幅広いジャンルの人物・団体を表彰する事業であり、2003年から実施している

【2025年度受賞者】

大賞	EXPO2025 大阪・関西万博と「ミヤクミヤク」 (公益社団法人2025年日本国際博覧会協会)
特別賞	北川 進 (京都大学理事・副学長、高等研究院特別教授) 坂口 志文 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター特別教授) 映画「国宝」制作チーム
EXPO2025大阪・関西万博特別賞	つじさん 大阪市高速電気軌道株式会社
ニューパワー賞	伊与原 新 (小説家) 久保 凜 (陸上選手) 久末 航 (ピアニスト)





KANSAI Tourism Bureau

The Origin of Japan, KANSAI

一般財団法人 関西観光本部

〒530-0005 大阪市北区中之島2丁目2番2号 大阪中之島ビル7F
代表06-6223-7200 / FAX 06-6223-7205

<https://kansai.or.jp/>

